

FENCING

フェンシング部

10/20-24 京都・大山崎町体育館
第60回全日本学生フェンシング個人選手権大会(インカレ)

▶ 男子サーブル／優勝 宮山 亮(文4)

SKATE

スケート部 (アイスホッケー)

12/13-19 ベラルーシ・パブリイスク
2011 IIHF世界U20選手権(ディビジョン1グループA)

▶ 5位 U20日本代表
DF 東城佑紀(法1) FW 室谷 徹(総1)
FW 辻 寛太(法1)

1/27-2/6 トルコ・エルズルム
第25回ユニバーシアード冬季競技大会

▶ 8位 日本代表
FW 水内直人(法3) FW 穂積潤光(経2)

国際大会出場のほか、インカレ2位などの好成績

1月に行われた第83回日本学生氷上競技選手権大会(インカレ)で、本学スケート部が準優勝をおさめました。また、国際大会では、1、2月にカザフスタンで開催された第7回アジア冬季競技大会アイスホッケー日本代表(銀メダルを獲得)FWとして、大学生では唯一、重野駿佑選手(商3)が選ばれました。残念ながら出場はなりませんでしたが、今後の活躍にご期待ください。



1月のインカレで得点王となった水内選手(法3)当時。写真は決勝の対明大戦。写真提供：中大スポーツ新聞部

SKI

スキー部

1/4-8 長野・志賀高原 西館山 FIS 公認コース
第26回全日本学生アルペンチャンピオンズスキー大会

▶ 男子大回転(1/5実施)／優勝 小松恭平(経4)
→昨年度は同種目(1/4実施)で2位

▶ 男子大回転(1/6実施)／優勝
男子回転／優勝
男子スーパー複合／優勝

及川貴寛(法4)

→大回転(1/5実施)、回転の2種目は昨年に続いての2連覇
スーパー複合は、スーパー大回転で1位(他の回転競技は中止)

1/27-2/6 トルコ・エルズルム
第25回ユニバーシアード冬季競技大会

▶ 男子回転／18位
男子大回転／33位
男子スーパー複合／27位

及川貴寛(法4)

→男子スーパー大回転にも出場ながら、惜しくも途中棄権

▶ ノルディック複合グンダーセン／6位
ノルディック複合マススタート／8位
ノルディック複合男子団体／5位(日本代表)

山元 駿(法4)

▶ スノーボード女子パラレル大回転／13位

志鷹あかり(文2)

2/17-24 秋田・鹿角市
第84回全日本学生スキー選手権大会(インカレ)

▶ 男子回転／優勝

及川貴寛(法4)

→昨年も同種目で優勝しており、2連覇

本学スキー部が全種目を制覇

第26回全日本学生アルペンチャンピオンズスキー大会で、FIS(国際スキー連盟)公認の4レース(大回転は2レース開催)において、本学スキー部が男子の全種目で優勝という快挙を達成しました。

硬式野球部と読売巨人軍がオープン戦

3-3で引き分け、互角の好勝負

—3月1日 宮崎・ひむかスタジアム

日本学生野球憲章の改正で大学野球とプロ野球との交流戦が解禁となり、その最初の試合として、本学硬式野球部と読売巨人軍2軍との対戦が行われました。

試合は、中大が先制し巨人が追いつく展開となり、同点で迎えた9回裏、1死満塁のピンチを守り切り、3対3の引き分けで試合終了となりました。

中大先発の入江慶亮投手(島根県立浜

田高校出身・法3=当時)は、初観戦の祖父がスタンドから見守るなか、4回を1失点に抑える好投。「大学とプロの違いはあるが、同世代との対戦だったので、負けたくないとの思いもあった」と勝負に挑む気持ちを振り返りました。

4月からは甲子園2連覇の島袋洋奨投手(商1)など、新戦力が加わった本学硬式野球部に、皆さまの大きなご声援を!



TRACK
and FIELD

女子陸上競技部

11/12-27 中国・広州
第16回アジア競技大会

▶ 女子400mハードル / 7位 田子 雅 (法4)

TRACK
and FIELD

陸上競技部

10/15-17 愛知・名古屋市瑞穂公園陸上競技場
第26回日本ジュニア陸上競技選手権大会

▶ 男子400mハードル / 優勝 館野哲也 (商1)

関東インカレ男子100m など3種目で本学選手が優勝

今年5月に開催の第90回関東学生陸上競技対校選手権大会で、川面聡大選手(法4)が男子100mで優勝、この種目では本学選手として28年ぶりの快挙となりました。このほか、女子10000mで篠塚麻衣選手(商1)、女子400mで矢野美幸選手(文4)がそれぞれ優勝しています。
※学年は2011年度

アジア陸上日本代表に本学から2選手が選出

7月7日から12日まで神戸で行われる第19回アジア陸上競技選手権日本代表に、男子100mで川面聡大選手(法4)、男子200mで飯塚翔太選手(法2)が選ばれました。
※学年は2011年度

中央大学陸上教室を開催

多摩キャンパス陸上競技場で今年2月、都内の小学生を対象とした中央大学陸上教室(東京陸上競技協会主催)が開催され、小学3年生から6年生の児童約100名とその父母が参加し、陸上競技を楽しみました。

まず、本学陸上競技部の選手たちが模範演技を披露。全日本や国際大会にも出場するトップレベルの競技を間近で見る機会は少ないだけに、参加者からは大きな歓声があがりました。体験レッスンでは、川面聡大選手ら陸上部員のユーモアをまじえた指導で大いに盛り上がり、終了後には選手たちのサインを求めて列ができるなど、中大陸上部ファンを増やす一日となりました。



TABLE
TENNIS

卓球部・女子卓球部

10/22-24 大阪・なみはやドーム
第77回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)

▶ 男子ダブルス / 優勝
瀬山辰男(経4) 松生直明(法1)

→前年度も同種目で優勝(森田・瀬山組)、瀬山選手は2連覇
→このほか、男子シングルスで伊積健太選手(商3)が2位、女子シングルスで北岡エリ子選手(文1)が2位、同ダブルスで根本理世選手(文2)・北岡エリ子選手(文1)組が2位の好結果

1/18-23 東京・東京体育館
平成22年度全日本卓球選手権大会

▶ 混合ダブルス / 優勝
瀬山辰男(経4) 坂本夕佳(文3)

→決勝では松平(早大)・石川(ミキハウスJSC)組に3-0で勝利し日本一に

女子卓球部が春季関東学生リーグ戦で優勝

今年5月に行われた平成23年度春季関東学生リーグ戦で、本学女子卓球部が優勝しました。優勝は12年ぶり、春秋通算では24シーズンぶりとなります。



写真提供…中大スポーツ新聞部
混合ダブルス日本一に輝いた、瀬山・坂本組。

陸上競技部 駅伝チームの近況

新春の箱根駅伝で総合6位、27年連続シード権を獲得した陸上競技部駅伝チームですが、秋の駅伝シーズン幕開けに向けて、日々の練習を積み重ねています。

5月の関東インカレでは、3000mSCで代田修平選手(経2)が見事3位に入賞。また、今年の箱根駅伝で8区を走り区間4位となった新庄浩太選手

(法3・写真右)の弟、新庄翔太選手(法1)が1500mで8位に入賞しています。

6月の予選会で本選出場が決定した三大大学駅伝の第一戦、出雲全日本大学選抜駅伝は10月に開催されます。中大の粘りに皆さまのご声援を!

※ 学年は2011年度



箱根駅伝応援サイト… www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/ekiden

WRESTLING

レスリング部

10/1-4 千葉・佐倉市民体育館
第65回国民体育大会

▶ 成年男子グレコローマンスタイル84キロ級／優勝

天野雅之(法4)

→前年度も同スタイル同階級で優勝しており、国体2連覇

10/14-15 東京・駒沢体育館
2010年全日本大学グレコローマン選手権大会

▶ 男子74キロ級／優勝

中井伸一(経4)

→前年度につづき、74キロ級2連覇
→大学対抗では本学は4位

10/26-30 イタリア・トリノ
世界学生選手権大会

▶ 男子グレコローマンスタイル74キロ級／出場

中井伸一(経4)

→1回戦敗退

ROWING

ボート部

10/15-17 埼玉・戸田ボート場
第51回全日本新人選手権大会

▶ 男子エイト／優勝

中央大学

→1、2年生対象の大会



写真提供：中大スポーツ新聞部

VOLLEYBALL

バレーボール部



インカレでベストスコアラワー賞の千々木選手(手前左・法3)と敢闘選手賞の山本主将(手前右・法4)。※学年は当時 写真提供：中大スポーツ新聞部

インカレ準優勝、全日本ベスト8などの好成績

11月末開催の第63回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会(インカレ)で、本学バレーボール部が準優勝に輝きました。12月の平成22年度天皇杯全日本バレーボール選手権大会では、2回戦でFC東京(V・プレミアリーグ)に勝利するなど金星を挙げ、ベスト8の好成績をおさめました。

また、春に開催された第60回記念黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会にも出場。この大会は、プロを含む国内の精鋭16チームによる選抜大会で、V・プレミア、V・チャレンジの両リーグから11チームに加え、4大学1高校が選ばれました。本学は予選グループ3位で、決勝トーナメント進出はかありませんでしたが、今後の飛躍につながる経験となりました。

2011年3月に卒業した部員のうちV・プレミアへは、パナソニックパンサーズに山本拓矢選手(法卒)、サントリーサンバーズに高橋賢選手(経卒)、豊田合成トレフェルサに長山拓未選手(法卒)が、V・チャレンジのジェイテクト STINGS に辰巳正敏選手(経卒)が入団しています。本学出身選手にご声援を!

秋田県で除雪ボランティア——準硬式野球部

日本海側で記録的な大雪となったこの冬、準硬式野球部員27名が、例年夏季の合宿地として利用している秋田県三種町を2月に訪れ、高齢者世帯を中心に除雪ボランティアを行いました。

南平寮を夜に出発、車中泊を含めて2泊3日の強行軍でしたが、除雪作業の指導を受けたあと、5班に分かれて約50軒を除雪。この活動は、地元紙をはじめ

め、毎日新聞1面のコラムでも取り上げられ、反響を呼びました。

■ 東都リーグで3季連続優勝

東都大学準硬式野球春季リーグで3季連続の優勝を達成、8月16日から北海道札幌市を中心に開催される第63回全日本大学準硬式野球選手権大会への出場権を獲得しました。9度目の全国制覇へ、皆さまのご声援をよろしくお願いします。



『Hakumonちゅうおう2011年春季号』オンライン版では、学生記者による部員へのインタビュー記事を掲載しています。www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/hakumon

KEMPO

拳法部

10/24 愛知・名古屋市枇杷島スポーツセンター
第26回全日本学生拳法個人選手権大会

- ▶ 男子個人戦 / 優勝 **浜田翔平** (法3)
→前回につづき2連覇

11/28 大阪・大阪府立体育館
第55回全日本学生拳法選手権大会

- ▶ 男子団体 / 優勝 **中央大学**
→本学の優勝は13年ぶり2度目
→最優秀選手賞に安武光博選手(文4)

WEIGHT LIFTING

重量挙げ部

3/5-6 埼玉・さいたま市記念総合体育館
第31回全日本ジュニアウエイトリフティング選手権大会

- ▶ 85キロ級 / 優勝 **木下竜之** (商1)

全日本個人85キロ級で優勝

5月に行われた第57回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会において、85キロ級で木下竜之選手(商2)が優勝しました。 ※学年は2011年度

SWIMMING

水泳部

ユニバーシアード日本代表に2選手が選出

8月12日から23日まで中国・深圳で開催される第26回ユニバーシアード競技大会の日本代表に、本学水泳部から塩浦慎理選手(法2)と瀧口陽平選手(法1)が選ばれました。種目は、両選手ともに男子自由形。大きなご声援をお願いいたします。 ※学年は2011年度



短水路男子800mで日本記録7月現在)を持つ瀧口選手(法1)。写真提供・中大スポーツ新聞部

AUTO

自動車部

11/21 東京・日通自動車学校杉並校
全日本学生自動車運転競技選手権大会(全日フィギュア)

- ▶ 男子乗用四輪A / 優勝 **田邊大輝** (法4)
- ▶ 男子小型貨物B / 優勝 **赤池翔太** (理3)

全日本学生自動車連盟年間総合杯

- ▶ 男子団体 / 優勝 **中央大学**
→11年ぶりの年間総合優勝
→全日フィギュア、ジムカーナ、ダートトライアルの各大会における合計獲得ポイントによる年間総合杯

RIFLE SHOOTING

射撃部

10/8-11 埼玉・長瀬総合射撃場
第57回全日本学生ライフル射撃選手権大会(インカレ)

- ▶ 50mライフル3×40発競技 団体(男子) / 優勝 **中央大学**

SOCCER

サッカー部

10/3-17 中国・ジボ
AFC U-19選手権大会

- ▶ ベスト8 **日本代表**
MF 六平光成 (経2)
→日本代表キャプテン(背番号10)として出場
→FIFA U-20 W杯2011コロンビア大会への出場権獲得はならず

今年卒業の2選手がJリーグに入団

サッカー部の2011年3月卒業生のうち、MF 永木亮太選手(経卒)がJ1湘南ベルマーレに入団、MF 佐藤謙介選手(文卒)がJ2横浜FCに入団しました。また、GK シュミット ダニエル選手(法2)が、2010年につづき2年連続でJ1川崎フロンターレ、岡西宏祐選手(法3)がJ1ヴァンフォーレ甲府の2011年度JFA・Jリーグ特別指定選手として認定を受け、中大サッカー部の試合に加え、クラブチームの試合への出場機会を得ています。 ※学年は2011年度

ヨット部葉山合宿所が竣工

今まで使用していた学友会葉山ヨット部合宿所は、昭和45年に竣工した建物のため、年月を経て老朽化が目立つようになっていました。昨年、本学が創立125周年を迎え、記念事業の一環として掲げる文化・スポーツ活動の充実のため、本年4月に、現在地の道路を

隔てた反対側にヨット部合宿所を竣工しました。

学生の居住環境に十分配慮し、寮室・自習室・ミーティングルームなどを備え、質素ながらも学問とスポーツの両立を目指す学生を支援する施設となっています。



チャリティイベントを開催 ——サッカー部

「サッカーを通して被災地へエールを送りたい」——本学サッカー部が企画した「チャリティサッカーイベント」が、4月23日、多摩キャンパスサッカー場で開催されました。

当日はあいにくの雨模様ながら、近隣の小中学生や父母、社会人のチームなど多数の参加者を迎え、サッカー部員とミニゲームを楽しむプログラムでイベントが始まりました。

そのなかで早稲田大学とのチャリティマッチが行われ、残念ながら中大は1対3で勝利を逃したものの、関東大学サッカー連盟1部リーグの白熱した試合は、サッカーファンにとって見てたえのあるものとなりました。

また、有名サッカー選手のサイン入

りグッズの抽選会も行われ、当選番号発表のたびに歓声があがるなど、雨空を忘れる一日となりました。

このほかサッカー部では、授業や練習の合間に立川駅などで募金を募り、



今回の企画の中心となったのは、主務の渡部一平選手(法4)。



『Hakumonちゅうおう2011年夏季号』オンライン版に詳細記事

「自分たちにもできることを」

——体育連盟学生による震災復興支援活動の一部をご紹介します

中大ヨット部災害救援隊 主将 山崎 裕史(経4)

私たち中央大学ヨット部は、この度の震災をうけ、2度にわたり災害支援隊を派遣しました。

第一回目は、震災3日後の3月14日に葉山合宿所から岩手県山田町を目指し、出発しました。救助活動に必要な工具類、当面の支援物資、我々の食糧・燃料、万全の態勢で現地へ向かい



ました。着の身着のまま避難してきた方が多く、用意してあった布団や衣類が大変喜ばれました。

第2回目は、4月11日に葉山合宿所を出発しました。現地のニーズを把握できるようになってきたため、十分に支援物資を準備することが出来ました。また、我々の出発を知った葉山町内会の皆様から様々な物資を託していただきました。2回目は山田町の他、宮古、釜石、気仙沼、七ヶ浜と被災各地で瓦礫の撤去、炊き出し、支援物資の配布等を行って来ました。

被災現場では災害の悲惨さに言葉を失いましたが、被災者の皆様の被害に立ち向かう強さを感じ、現地入りをした部員一同大きな感銘を受け、人間として学べたものが大きかったと思います。これからも微力ですが、復興に向けた活動を続けていきます。

ボランティア輸送に協力 ——自動車部OB



全国大学生協が仙台に設置したボランティア活動センターへの学生ボランティアの輸送に、白門自動車会(自動車部OB会)が協力しました。自動車部のマイクロバスやワゴン車を活用し、東京・仙台間、また仙台から活動場所となる各被災地間など、設定された4期間で、のべ174名のボランティアの安全な送迎に貢献しました。